



ミヤマキリシマ鑑賞会（九州森林管理局）

3 国有林野の林産物の供給

3 国有林野の林産物の供給

(1) 計画的な収穫の実施

国有林野事業では、木材等の林産物について、公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を進めることを基本として、自然環境の保全等に十分な配慮を行いながら、持続的・計画的な供給に努めています。平成20年度には704万 m^3 の木材を収穫しました。

また、多様な森林を有しているという国有林野の特性を活かし、民有林からの供給が期待しにくい大径長尺材や、木曽ヒノキ、天然秋田杉等の銘木の計画的な供給に努めています。

表－17 収穫の実施状況

(単位：万 m^3)

区 分	平成20年度	(参考)平成19年度
主 伐	139	160
間 伐	564	560
合 計	704	720

注 計の不一致は、四捨五入による。

表－18 民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材(丸太)供給実績

(単位：万 m^3)

樹 種 名	平成20年度	(参考)平成19年度
ヒ バ	1.2	1.7
木曽ヒノキ	0.4	0.5
天然秋田杉	0.1	0.1

事例 地域の社寺仏閣等伝統的木造建造物への貢献

東信森林管理署では、安曇野市にある穂高神社の20年に一度の式年遷宮祭にあたり、3社ある本殿のうち1社の造り替えに必要となるコメツガ材約119m³を平成19年度に供給しました。

穂高神社では、国有林から供給した木材により平成20年度から本殿の造営に着手し、平成21年5月に大遷宮祭（安曇野市無形民族文化財指定）を執り行いました。

（中部森林管理局 東信森林管理署）



場 所：長野県安曇野市

説 明：写真は、国有林から供給したコメツガの丸太と、それを用いて穂高神社に造営された本殿の様子です。

（２）林産物等の販売

平成20年度の木材販売量は、立木販売^{注)}については41万 m^3 減少して66万 m^3 に、素材（丸太）販売^{注)}については19万 m^3 増加して180万 m^3 となりました。

販売に当たっては、集成材^{注)}・合板^{注)}工場や大手住宅メーカーへ納入している製材工場等、これまで主として外材を利用してきた大口の需要者に対して、原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進することにより、国産材の需要拡大にも努めています。

このほか、インターネット等を活用し、迅速かつ広範囲に公売情報を提供したり、民間市場への素材販売の委託を行うなど樹材種の特質に応じた有利な販売や販路の拡大に努めるとともに、民間では供給が難しい文化財の修復のための資材販売を行っています。

このように、林産物等の販売に努力した結果、平成20年度の林産物等収入は227億円になりました。

表－１９ 林産物等販売の状況

(単位：万 m^3 、億円)

区 分	平成20年度		(参考) 平成19年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
林産物等収入	—	227	—	232
立木販売	66	17	107	25
素材販売	180	193	161	191
その他	—	1	—	1
分収林等	110	16	107	15
(うち民収分)	(67)	—	(65)	—

- 注：1 数量は、立木販売、分収林等については立木材積で、素材販売については素材(丸太)材積で示している。
 2 その他は雑収である。
 3 分収林等は、分収造林、分収育林、官行造林であり、金額はそれぞれの官収分となっている。
 4 立木販売の金額には、立木販売の他に環境緑化用樹木、立木竹及び幼齢木補償料等が含まれる。

表－２０ 国有林材の販売単価の動向

(単位：百円/ m^3)

年 度	平成 14	平成 15	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19	平成 20
立木販売	19	19	18	14	15	18	21
素材販売	264	225	192	135	130	118	107

- 注：販売単価は、立木販売については立木材積単位、素材販売については素材(丸太)材積単位の年間平均単価(実績)で示している。

事例 安定的な木材の供給

岡山森林管理署では、間伐材を地元の木材加工協同組合等に「システム販売」により計画的に供給することにより、木材の安定供給や国産材の需要拡大に貢献しています。平成20年度は、約1,500m³の間伐材を「システム販売」で供給しました。

(近畿中国森林管理局 岡山森林管理署)



場 所：岡山県津山市

説 明：写真は、生産された間伐材と、木材供給先で加工された製品の様子です。

事例 地域の伝統工芸に必要な資材の供給

木曽森林管理署では、地域の伝統工芸である「へぎ板」、^{あじろ}「網代細工」に必要なネズコ材を供給しています。

この「へぎ板」、「網代細工」は、古くは戦国時代から茶室などの室内装飾に用いられてきた伝統的な技法であり、未乾燥の木材を刃物を用いずに薄く割ったものを編んで細工するため、自然の風合いを残し、かつ優れた耐久性を持つのが特徴です。

(中部森林管理局 木曽森林管理署)



- 場 所：長野県木曽郡^{おうたきむら}王滝村 王滝国有林（木曽森林管理署管内）（左上）、長野県木曽郡^{あげまつまち}上松町（左下、右下）
- 説 明：写真は、国有林から供給したネズコの丸太と、へぎ板を作成する職人及びへぎ板を編んだ網代細工のついたての様子です。



間伐した木を高性能林業機械により丸太にしているところ（九州森林管理局）

4 国有林野の活用

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の活用の適切な推進

① 国有林野の貸付け

農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上等に貢献するため、地方公共団体、地元住民の皆さん等に対して国有林野の貸付けを行っています。

平成20年度末現在で約7万6千haを貸し付けており、その内訳は、農地や採草放牧地が約2割、道路、電気、通信、ダム等の公用、公共用または公益事業用の施設用地が約5割を占めています。

表－2 1 国有林野の用途別貸付け状況

(単位：ha)

区 分	平成20年度	(参考)平成19年度
農耕・採草放牧地	11,573(15)	11,609(15)
道路敷	15,222(20)	15,081(20)
電気・電気通信事業用地	16,355(22)	16,657(22)
ダム・堰堤敷	3,038(4)	3,071(4)
鉱業用地	934(1)	987(1)
森林空間総合利用事業用地	8,100(11)	8,129(11)
その他	20,826(27)	20,521(27)
合 計	76,049(100)	76,056(100)

注：1 貸付け面積は、各年度期末現在の数値である。

2 平成20年度の実績は、見込み値である。

3 () 書は、合計に占める用途別の比率(%)である。

4 計の不一致は、四捨五入による。

事例 地域の保健休養施設・観光資源としての国有林野の活用

北九州市は、都市近郊に所在し、自然環境、自然景観に恵まれた北九州自然休養林において、キャンプ場や森林植物園等の施設整備を行っており、福岡森林管理署では、同市に対しこれらの施設用地の貸付けを行っています。

平成20年度には、新たに、同市が策定した皿倉山山頂（標高622m）までのスロープカー整備計画（全長159m、標高差40m、乗車定員40人）に合わせ、国有林野の貸付けを行いました。

これにより、北九州自然休養林を訪れる地域住民の方々の利便性の向上と併せて、観光資源としての魅力を向上させることが期待されます。

（九州森林管理局 福岡森林管理署）



場 所：福岡県北九州市 黒崎山国有林
 説 明：写真は、ケーブルカー山上駅から皿倉山山頂の展望台駅へ向かうスロープカーの様子です。

② 林野・土地の売払い

土地（庁舎、宿舍等）については、国有林野事業の遂行に不可欠なものを除いて可能な限り売り払うことにしています。平成20年度には、14haを13億円で売り払いました。

また、林野（森林、苗畑・貯木場の跡地等）については、公益的機能の発揮等に十分配慮しつつ、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に必要とされるものについて、売払いを推進することとしています。平成20年度には、ダム用地や森林公園等として、464haを27億円で売り払いました。

なお、公売物件については、ホームページや新聞広告等を活用して最新情報を公開するなど、様々な販売努力を行っています。

表－２２ 林野・土地の売払い状況

(単位：ha、億円)

区 分	平成20年度		(参考)	平成19年度
	面積	金額	面積	金額
林 野	464	27	611	32
土 地	14	13	9	37
計	478	40	620	69

表－２３ 林野・土地の用途別売払い状況

(単位：ha)

区 分	平成20年度		(参考)平成19年度	
年度等	林野	土地	林野	土地
所管換・所属替	325(70)	0(2)	472(77)	0(1)
公用・公共事業用	93(20)	1(10)	106(17)	1(9)
産業振興用	－(ー)	－(ー)	－(ー)	－(ー)
その他	46(10)	12(88)	33(5)	8(91)
計	464(100)	14(100)	611(100)	9(100)

注：１ () 書は、計に占める用途別の比率(%)である。

２ 「所管換」とは、他省庁への売払い、「所属替」とは、農林水産省内の他部局への売払いのことである。

３ 計の不一致は、四捨五入による。

事例 地域産業の振興のための国有林野の売払い

木曽森林管理署では、市街地にある丸太置き場の余剰地について、あげまつまち上松町から新たな工業団地用地として買受希望があったことを受け、地域の産業振興や就労機会の増大など地域住民の方々の福祉向上に寄与するものであることから、平成20年度に同町の土地開発公社へ売り払いました。

(中部森林管理局 木曽森林管理署)



場 所：長野県木曽郡上松町
 説 明：写真は、売払箇所の遠望の様子です。

(2) 公衆の保健のための活用の推進

国有林野事業では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に設定し、国民の皆さんに提供しています。

平成20年度には、延べ約1億2千万人の方々に利用していただきましたが、これからも利用者ニーズに即した魅力あるフィールドとして活用いただけるよう、リフレッシュ対策に取り組んでいます。

このほか、「レクリエーションの森」では、利用者の方々に自主的に協力していただいている「森林環境整備推進協力金」も経費の一部として活用しつつ、国民の皆さんが快適に利用していただけるよう、森林や案内板・歩道等の整備、美化清掃、パンフレットの作成等を進めています。

表－24 「レクリエーションの森」の設定状況及び利用者数

「レクリエーションの森」の種類	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	代表地
自然休養林	89	104	31	高尾山、赤沢、屋久島
自然観察教育林	163	31	16	箱根、軽井沢、上高地
風景林	492	180	31	摩周、嵐山、宮島
森林スポーツ林	61	8	1	風の松原、扇の仙、西之浦
野外スポーツ地域	204	49	30	はちまんたい たんぼら 八幡平、玉原、苗場
風致探勝林	110	21	16	層雲峡、駒ヶ岳、穂高
合計	1,119	392	123	

注：1 箇所数及び面積は、平成21年4月1日現在の数値であり、利用者数は、平成20年度の数値である。

2 計の不一致は、四捨五入による。

事例 「レクリエーションの森」の整備の推進

玄海風致探勝林は、宗^{むなかた}像市の北方に位置し、玄界灘に注ぐ釣川の河口に広がる東西約5km、約140haのクロマツを主体とする松林中、「さつき松原」として地域の方々に親しまれています。

福岡森林管理署では、平成18年度に設立された、宗像市や観光協会、自治会、NPO等などからなる「さつき松原管理運営協議会」とも連携し、より魅力的な「さつき松原」とするためのリフレッシュ対策に取り組んでいます。

平成20年度は、森林整備や、ウッドチップ舗装によるバリアフリー歩道の整備などを行いました。

(九州森林管理局 福岡森林管理署)



場 所: 福岡県宗^{しもはまやま}像市 下浜山国有林
 説 明: 写真は、玄海風致探勝林の遠望と、整備した林内及びバリアフリー歩道の様子です。

事例 「レクリエーションの森」におけるクリーンハイキングの取組

嶺北森林管理署では、『国民の森林』クリーン月間」の取組の一環として、ボランティア団体と連携し、「県民の森」及び「市民の森」として親しまれている工石山自然休養林において、一般募集した地域の方々とともに、ハイキングを楽しみながらゴミ拾いや下草刈りなどの清掃活動を行いました。

(四国森林管理局 嶺北森林管理署)



場 所：高知県高知市 工石山国有林

写 真：写真は、クリーンハイキングに参加し、下草刈りなどの清掃活動を行うボランティアの様子です。

事例 「レクリエーションの森」のサポーター制度

国有林野事業では、CSR（企業の社会的責任）活動に関心の高い企業に、遊歩道や標識の整備、案内マップの作成、美化清掃等の「レクリエーションの森」の整備・管理活動に参加いただく制度を設けています。

A社では、平成20年度に、秋田市の仁別自然休養林など全国4箇所の「レクリエーションの森」を対象に、管理運営協議会等と協定を締結し、社員による遊歩道の整備や施設の清掃等のボランティア活動や資金提供などを行いました。

（東北森林管理局 秋田森林管理署等）



場 所：秋田県秋田市 仁別自然休養林（秋田森林管理署管内）（左上）、鹿児島
くまげ やくしまちよう
 県熊本郡屋久島町 屋久島自然休養林（屋久島森林管理署管内）（右下）
 写 真：写真は、社員が、職員とともに、遊歩道へのウッドチップ敷きと案内板
 の清掃を行っている様子です。